

「ワンヘルスサマーセミナー」が開催されました !!

令和4年8月27日（土）から28日（日）にかけて、『くじゅう飯田高原ボスコ』において、福岡県主催による「ワンヘルスサマーセミナー」が開催されました。

藏内勇夫日本獣医師会会長をはじめとする5名の講師陣で、セミナー参加者は、福岡県医師会の横倉義武名誉会長、福岡県獣医師会の草場治雄会長及び行政関係者を含めて20名の皆さんが参加されました。



【8月27日（土）】

- ◎ 国立感染症研究所 獣医科学部部长 前田 健

「何故、今、動物由来感染症対策が必要なのか？」

近代化により我々人間や動物を取り巻く様々な環境が変化しています。地球規模から市町村レベルまでその変化は様々です。動物を取り巻く環境が変化した結果、動物の病気、人の病気も変化しています。その変化に対応するためにも、One Health アプローチが重要です。

- ◎ 国立国際医療研究センター

AMR 臨床リファレンスセンター 臨床疫学室長 松永 展明

「AMR 対策：ワンヘルスアプローチ」

COVID-19 感染症に目を奪われがちですが、水面下で薬剤耐性菌の球威は進んでいます。対策のためには、人分野だけではなく動物分野環境分野が一体なって取り組むワンヘルスアプローチが肝要であり、各国でも取り組みが強化されています。

【8月28日（日）】

- ◎ 日本医科大学付属病院臨床教授・医師・医学博士 李 卿

「森林浴・森林医学とワンヘルス」

森林浴とは、森林散策を通して五感を刺激して森林の持つ癒し効果の人々の健康増進・疾病予防に活用する活動です。

- ◎ 福岡県保健環境研究所 所長 香月 進

「福岡県保健環境研究所におけるワンヘルスの取組」



前田部長



松永 室長



李 教授



香月 所長

◎ 日本獣医師会 会長 藏内 勇夫

「私のライフワーク ワンヘルス」

日本獣医師会は、2010年に「動物と人の健康は一つ、そして、それは地球の願い。」という獣医師会活動指針を採択し、日本医師会や福岡県、関係機関と連携しながらワンヘルスに取り組んできました。

日本獣医師会は、第21回 FAVA 大会終了後も継続的にワンヘルスを推進するため、FAVA 日本事務所の福岡市への設置を目指してきました。

8月6日のFAVA 執行部会議において、全員一致で承認されました。

FAVA 日本事務所の福岡市設置により、国際機関と、国や福岡県、福岡市をはじめとする市町村が連携しながら、アジア、オセアニアの各国におけるワンヘルスの推進を図ることができます。

2023年4月の福岡事務所開設に向けて調整を進めて参ります。



2022年8月29日

福岡ワンヘルス協議会・事務局